

ワークショップ

【目的】

このワークショップは、以下の自己チェックリストを活用して、自社の安全に対する取組みの現状を把握し、今後自社で取組む課題を洗い出した上で優先順位を付けることを目的としています。

【実施方法】

自己点検チェックポイントの取組みが自社で出来ている場合は「○」、出来ていない場合は「×」、わからない場合は「わからない」を選択し、「チェック欄」にレ点を記入します（右の記載例を参照）。

大項目	小項目	自己点検チェックポイント	チェック欄			まずここから着手	ガイドライン項番	取組事例番号
経営トップの責務	1	代表者（経営者）は、法令を守ること、安全を最優先とすることなどの考え方を盛り込んだ安全方針を作っている。	○	×	わからない		(1) (2)	1~4
	2	代表者（経営者）及び安全統括管理者は、安全方針を事業者内部に周知している。	○	×	わからない		(2)	3, 4
	3	代表者（経営者）及び安全統括管理者は、安全方針を実現するため、1年ごとに安全目標を定め、その目標を達成するための具体的な取組計画を作っている。	○	×	わからない		(3)	5, 6, 7
	4	安全運行に努め、安全目標を達成している。	○	×	わからない		(3)	5, 6, 7

自己チェックリスト

大項目	小項目	自己点検チェックポイント	チェック欄			まずここから着手	ガイドライン項番	取組事例番号
経営トップの責務等・安全管理の考えと計画	1	代表者（経営者）は、法令を守ること、安全を最優先とすることなどの考え方を盛り込んだ安全方針を作っている。	○	×	わからない		(1) (2)	1~4
	2	代表者（経営者）及び安全統括管理者は、安全方針を事業者内部に周知している。	○	×	わからない		(2)	3, 4
	3	代表者（経営者）及び安全統括管理者は、安全方針を実現するため、1年ごとに安全目標を定め、その目標を達成するための具体的な取組計画を作っている。	○	×	わからない		(3)	5, 6, 7
	4	安全運行に努め、安全目標を達成している。	○	×	わからない		(3)	5, 6, 7
	5	重大事故が発生した場合の対応方法を定めている。	○	×	わからない		(8)	26
	6	代表者（経営者）は、安全に必要な設備の更新・整備や人員の配置等を行っている。	○	×	わからない		(1)	1, 2
	7	安全統括管理者は、その職務を把握し、社員・職員を指揮・指導し、安全目標の達成に向けた取組を積極的に行っている。	○	×	わからない		(4)	—
	8	安全統括管理者は、代表者（経営者）との連絡を密にし、輸送の安全に関する情報を集め、代表者（経営者）に報告している。	○	×	わからない		(4)	—
	9	事業者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を明確に定めている。	○	×	わからない		(5)	—
	10	事業者は、安全管理の実施体制における各自の責任・役割を周知している。	○	×	わからない		(5)	—
コミュニケーションの確保	11	事業者内部において、輸送の安全に関する定期的な話し合いを行っている。	○	×	わからない		(6)	8~15
	12	代表者（経営者）は、社員・職員と直接話す機会を作り、安全に関する指示・指導をしたり、社員・職員から意見・要望を聴いたりしている。	○	×	わからない		(1) (6)	1, 2, 8~15
	13	旅客又は荷主から輸送の安全に関する意見・要望を収集している。	○	×	わからない	1	(6)	8~15
教育・訓練等の取組	14	関係法令や事業者で定める規則を遵守して、安全運行している。	○	×	わからない		(9)	27
	15	安全管理・運行管理に関する事業者で定める規程が適切に管理されている（必要な部署への配付・保管、改廃手続きの適切な実施と表示）。	○	×	わからない		(9) (13)	27
	16	（トラックの場合）委託先事業者の輸送の安全を阻害することをしないようにしている。	○	×	わからない		(6)	8~15
	17	安全運行に必要な教育・訓練を定期的実施している。	○	×	わからない		(10)	28, 29, 30
	18	代表者（経営者）や安全統括管理者等は、外部が主催する運輸安全マネジメントに関する研修等に参加している（事業者内部の教育の受講も含む）。	○	×	わからない		(10)	28, 29, 30
	19	17及び18の教育・訓練等の実施状況を記録している。	○	×	わからない		(10) (14)	28, 29, 30

ワークショップ

自己チェックリスト

大項目	小項目	自己点検チェックポイント	チェック欄			まずここから着手	がトライン項番	取組事例番号
事故情報等の収集・活用	20	事故が発生した場合、代表者（経営者）まで事故の情報が現場から報告されるようになっている。	◎	×	わからない		(7)	16~25
	21	発生した事故の再発防止策を考え、実行している。	◎	×	わからない		(7)	16~25
	22	ヒヤリ・ハット情報を集め、事故防止に活用している。	◎	×	わからない		(7)	16~25
	23	他の事業者の事故事例などを集め、事業者自らの事故防止に活用している。	◎	×	わからない		(7)	16~25
	24	緊急通報・連絡先を少なくとも1年ごとに見直し、電話番号等に変更がないかどうか確認をしている。	◎	×	わからない		(8)	26
	25	20から24の実施状況を記録している。	◎	×	わからない		(7) (8) (14)	16~26
	26	事故が発生した場合、必要な報告を国土交通省にしている。（報告が必要な場合）	○	×	わからない	この事態は発生していない	(9)	27
点検直し及び改善	27	代表者（経営者）は、少なくとも年に1回は安全の確保に向けた取組状況（安全目標、安全目標達成に向けた取組、安全管理の取組体制、情報の伝達体制、事故防止策、教育・訓練等）を点検し、問題があれば改善している。	◎	×	わからない	2	(1) (11) (12)	1, 2 31~38
	28	27の実施状況を記録している。	◎	×	わからない	3	(11) (12) (14)	31~38
委託先事業者との情報伝達の確保等	29	安全方針、安全目標が委託先事業者に周知されている。	○	×	わからない		(2) (3) (6)	3~7 8~15
	30	委託した管理業務に適用される管理の方法とその取組内容を委託先事業者に明らかにしている。	○	×	わからない		(6)	8~15
	31	委託先事業者に安全管理体制の構築・改善を要請・指導している。	○	×	わからない		(6)	8~15
	32	委託先事業者の安全方針、安全目標が委託先事業者の安全方針、安全目標を踏まえたものとなっている。	○	×	わからない		(2) (3) (6)	3~7 8~15
	33	委託先事業者と相互の連絡体制の構築、情報の共有がされている。	○	×	わからない		(6)	8~15
	34	委託した管理業務の実施状況を定期的に点検し、必要な改善を行っている。	○	×	わからない		(6)	8~15
	35	34の実施状況を記録している。	○	×	わからない		(6) (14)	8~15

内部監査実施日 2021年4月20日 氏名 山崎千佳代 (山崎印)

内部監査実施日 2021年4月20日 氏名 紹慶 信行 (紹慶印)

コロナ化の中、皆の気持ちも前に向かう。皆で協力して クリーン独自のマニュアル本を作成出来るようにして良かった。

今回の教育の中でも、このマニュアル本を基に指導が出来、教育を受ける皆さんも、興味ももちやすくて良かった。とても有意義な内容だった。

ヒヤリハットについては前年度から上がっていた報告を基に、実際に現場へ行き、どういったところが危いかを目で確かめることが出来、良い内容だった。

今年度の教育から、部長と各主任が主体となって、また目録の変更も内容もかなり良かった。駐車場の外灯が暗く、車庫へ入る時、危いという指摘があったので、外灯を付けた。

328のステップ中ステップが中途半端で危いと思う。(特に学生) 検討してほしい。

マイクロバスが置いてある駐車場の整備してほしい。(雨の日にもう少しきれいにして) 記録者: 持田子規